

『銀行業務検定試験 公式テキスト 税務2級 2026年3月受験用』
誤記のお詫びと訂正のお願い

標記書籍におきまして、内容の一部に誤りがありました。誠に申し訳ございません。
お詫びして下記のとおり訂正いたします。

記

◆256頁 <参考>内の②

- (誤) ・耐震・省エネ・バリアフリーの住宅を取得した場合
1,000万円(非課税枠) + 2,500万円(特別控除額) = 3,500万円
・上記以外の住宅を取得した場合
500万円(非課税枠) + 2,500万円(特別控除額) = 3,000万円
- (正) ・耐震・省エネ・バリアフリーの住宅を取得した場合
1,000万円(非課税枠) +110万円(基礎控除額) + 2,500万円(特別控除額) = 3,610万円
・上記以外の住宅を取得した場合
500万円(非課税枠) +110万円(基礎控除額) + 2,500万円(特別控除額) = 3,110万円

◆256頁 [計算例] 内の解答

- (誤) 5,000万円 - 1,000万円(省エネ住宅) - (2,500万円 - 900万円) = 2,400万円
よって、2,400万円 × 20% = 480万円
- (正) 5,000万円 - 1,000万円(省エネ住宅) -110万円 - (2,500万円 - 900万円) = 2,290万円
よって、2,290万円 × 20% = 458万円

◆264頁 【応用問題解答例】の1

- (誤) 5,600万円(住宅取得等資金) - 500万円(非課税枠) - 2,500万円(特別控除額)
= 2,600万円
よって、2,600万円 × 20% = 520万円
- (正) 5,600万円(住宅取得等資金) - 500万円(非課税枠) -110万円(基礎控除額) - 2,500万円(特別控除額) = 2,490万円
よって、2,490万円 × 20% = 498万円

以上